

さんけん新聞

発行
NPO法人
三段峡-太田川
流域研究会
(代表・本宮炎)

〒731-3813
広島県山県郡
安芸太田町
柴木 1734
☎090・
3421・3046

一口メモ

▼雪解

探勝路の清掃があった三
月末、水梨口から三段滝へは
所々にまだたっぷりの雪が

あった。春の草花も開花も
遅れ気味だ。大雪のおかげ
で増水したエメラルドグリー
ンの流れや淵が、早春の
三段峡の美しさを見せる。

県の安全確認前だが、来峡者
が増えている。安全に十分留
意して、楽しんでほしい。「坊
がつる讃歌」の一節に「雪解
の水に春を知る」とある。

「LOUPE」開店準備

カフェ充実 明るいい外観

DIY作業 五日間で三十六人参加

四月五日からの営業開始に向け三月と四月
の五日間、LOUPE恒例のDIY作業によ
って準備を整えた。水漏れした大型水槽を撤
去しカフェ部分を充実、チラシスタンドを置
いた。外壁の塗装や看板の設置など、利用し
やすいビクターセンターになった。



店舗らしくなったテイクアウト用窓口

作業にはボランティアや
スタッフら延べ三十六人が
参加した。水槽は中型二つ
を残し、水漏れした大型は
撤去。空いたスペースをカ
フェ用にした。小型水槽も
整理して、生き物を観察し
やすくした。水槽を掃除し
た小学生の平尾龍平君は
「見てもらえる展示づくり
はやりがいがあ」と喜ん
でいた。

三日がかりでペンキを塗
り替えた外壁は、明るいミ
ルキーホワイトになり、新
しく看板を取り付けた。さ
んけん植物部の山崎雄二さ
んがテイクアウト用の窓口
の足場と暖簾台を造作し、
店舗らしくなった。外観を
でも使用する。

デザインしたスタッフの佐
藤亜紗さんは「お客さんが
気軽に注文しやすくなった
のでは」と話していた。
これまでカウンターに並
べていたチラシはチラシス
タンドへ移してすっきりさ
せ、スツールチェアを置く
予定にしている。室内の左
側面へカウンターテーブル
増設した。一人客用の席と
し、スタッフの仕事机とし

丸木位里の三段峡訪ねる

四月二十六日開催 参加者募集

「原爆の図」で知られる
画家・丸木位里（一九〇一
―一九五五）が描いた三段峡
を巡るツアーと水墨画の体
験会が四月二十六日、LO
UPEで開かれる。同時開
催のパネル展示「丸木位里
と三段峡」は五月十一日ま
で開かれている。名勝指定
百周年記念事業の第五弾。
水墨画家の丸木は三段峡
へ通い、多くの作品を残し
た。イベントは広島大学の
学生団体「丸木位里と故郷・

「HYPP AWARD」で優秀賞
絶景体験ツアーに高評価
観光資源の開発や魅力向
上に取り組んでいる事業者
を支援する広島県観光連盟
の「HYPP AWARD」
の授賞式が三月十二日、広
島市内で開かれ、drop
sが自然・アクティビティ
部門で優秀賞を受賞した。
対象となったのは昨年度
企画した、三段峡の絶景を
体験するトレッキングと子
供達が川遊びやシャワーク
ライミングを楽しむ二事
業。選考委員の佐藤亮太さ
んは「ガイドと一緒にでない
と行けない場所へ入れるの
が一番強い部分。三段峡は
お金が落ちる要素がなかつ
た。ツアーを通じて地域の
活性化へ貢献してほしい」
と期待を述べた。HYPP
は観光プロダクトを支援す
るプラットフォーム。十三団
体が授賞し、dropsに
は二万円が授与された。

と行けない場所へ入れるの
が一番強い部分。三段峡は
お金が落ちる要素がなかつ
た。ツアーを通じて地域の
活性化へ貢献してほしい」
と期待を述べた。HYPP
は観光プロダクトを支援す
るプラットフォーム。十三団
体が授賞し、dropsに
は二万円が授与された。

セピア写真

(29)



丸太の主塔 寿命短い初代「長潭橋」

名勝指定された翌年の一
九二六年、三段峡正面口に
架けられた初代の木製
吊り橋である。親柱を
拡大すると右に「長潭
橋」、左にはこの辺りの
景勝名の「ながぶち」と
彫られている。撮影し
たのは野田富示仁。

現在、峡内の淵の名称は
長淵、黒淵など「淵」に統一
されているが、当時はまち
まちで「淵」も使われた。長
淵だけは「長潭」とも表記
された。潭には「深く水を
湛える」との意味があり、
淵とは微妙な違いがある。
この橋の寿命は短く、三

八年に撮影された二代目の
橋の主塔は、丸太からコン
クリート製になっている。
経緯は不明なのだが、私の
叔母から祖母が生前話して
いた信じがたい体験談を聞
いた。三段峡の吊り橋が切
れ、わらわらと人が落ちる
のを見たと言うのだ。橋の

架け替えに関係した事故だ
とすれば、一二年生まれの
祖母は二十代半ばだった。
叔母が聞いたのも古い記
憶であり、あまりに衝撃的
なため誇張されているか、
戦後の女夫淵での橋落下事
故と混同しているのではな
いか、とも思う。戦争の時
代へ進む中、事故が記録さ
れなかった可能性もあるの
ではと考える。（松尾俊孝）



本宮芳太郎君 長野大学へ進学 「環境と地域」を学ぶコース

さんけん発
足当時から魚
類など水生生
物の観察や調
査に加わり、子供達対象の
「さんけん自然塾」ではリ
ーダーを務め、LOUPE
の命名者でもある本宮芳太
郎君が、公立大学法人・長野
大学環境ツーリズム学部へ
進学した。「育ててもらった
三段峡と支えていただいた
皆さんに恩返しできるように
努力します」と話している。